

知的障害のある児童生徒のための各教科に関連する資料

目次

・ 知的障害のある児童生徒のための各教科等の構成について	3
・ 知的障害のある児童生徒の学習上の特性等	4
・ 知的障害のある児童生徒のための各教科の段階による各部の内容構成について	5
・ 特別支援学校（知的障害）の教育課程の構造について	6
・ 各教科等を合わせた指導について①、②、③	7～9
・ 学習評価について	10
・ 各教科の目標と内容	11～21
・ 知的障害のある児童生徒のための各教科の変遷	22
（参考）社会科等で育成すべき資質・能力の整理（仮案・調整中）	23～24

知的障害のある児童生徒のための各教科等の構成について

知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の各教科は、知的障害の特徴や学習上の特性等を踏まえ、児童生徒が自立し社会参加するために必要な知識や技能、態度などを身に付けることを重視し、各教科等の目標と内容等を示している。

(学校教育法施行規則第126条第2項 第127条2項、第128条第2項)

【参考】

特別支援学校高等部（知的障害）の教育課程

各学科に共通する各教科										道徳	時間	総合的な学習の時間	特別活動	自立活動
国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	職業	家庭	外国語*					

主として専門学科において開設される各教科

家政	農業	工業	ス	サ	流	福
			ー	ー	通	祉
			ジ	・		

*外国語、情報は必要に応じて設けることができる

学校設定教科

特別支援学校中学部（知的障害）の教育課程

各教科								道徳科	時間	総合的な学習の時間	特別活動	自立活動
国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	職業・家庭					

*外国語 必要がある場合は加えることができる

特別支援学校小学部（知的障害）の教育課程

各教科					道徳科	特別活動	自立活動
生活	国語	算数	音楽	図画工作			

高等学校の教育課程

各学科に共通する各教科									時間	総合的な学習の時間	特別活動
国語	地理歴史	公民	数学	理科	保健体育	芸術	外国語	家庭			

主として専門学科において開設される各教科

農業	工業	商業	水産	家庭	看護	情報	福祉	理数	体育	音楽	美術	英語
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

学校設定科目及び学校設定教科

中学校の教育課程

各教科								道徳科	時間	総合的な学習の時間	特別活動
国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭				

小学校の教育課程

各教科							道徳科	外国語活動	時間	総合的な学習の時間	特別活動
国語	社会*	算数	理科*	生活*	音楽	図画工作					

*社会3-6年 理科3-6年 生活1・2年 家庭5・6年

知的障害のある児童生徒の学習上の特性としては、**学習によって得た知識や技能が断片的になりやすく、実際の生活の場で応用されにくいことや、成功経験が少ないこと**などにより、**主体的に活動に取り組む意欲が十分に育っていないこと**などが挙げられる。また、**実際的な生活経験が不足しがち**であることから、**実際の・具体的な内容の指導が必要であり**、抽象的な内容の指導よりも効果的である。特に、知的障害が極めて重度である場合は、視覚障害や聴覚障害、肢体不自由など、他の障害を併せ有することも多いので、より一層のきめ細かな配慮が必要となる。

さらに、教材・教具や補助用具を含めた**学習環境の効果的な設定**をはじめとして、児童生徒への**かかわり方の一貫性や継続性の確保**、在籍する児童生徒に関する周囲の理解などの**環境条件**も整え、知的障害のある児童生徒の学習活動への主体的な参加や経験の拡大を促していくことも大切である。

このような特性を踏まえ、次のような教育的対応を基本とすることが重要である。

- ① **児童生徒の実態等に即した指導内容を選択・組織**する。
- ② 児童生徒が、**自ら見通しをもって行動**できるよう、**日課や学習環境などを分かりやすくし、規則的でまとまりのある学校生活**が送れるようにする。
- ③ **望ましい社会参加を目指し、日常生活や社会生活に必要な技能や習慣**が身に付くよう指導する。
- ④ **職業教育を重視し、将来の職業生活に必要な基礎的な知識や技能及び態度**が育つよう指導する。
- ⑤ **生活に結び付いた具体的な活動を学習活動の中心**に据え、実際的な状況下で指導する。
- ⑥ 生活の課題に沿った多様な生活経験を通して、日々の生活の質が高まるよう指導する。
- ⑦ **児童生徒の興味・関心や得意な面**を考慮し、教材・教具等を工夫するとともに、目的が達成しやすいように、段階的な指導を行うなどして、児童生徒の学習活動への意欲が育つよう指導する。
- ⑧ できる限り**児童生徒の成功経験を豊富にする**とともに、自発的・自主的な活動を大切にし、主体的活動を促すよう指導する。
- ⑨ 児童生徒一人一人が**集団において役割**が得られるよう工夫し、その活動を遂行できるよう指導する。
- ⑩ 児童生徒一人一人の**発達の不均衡な面や情緒の不安定さなどの課題**に応じて指導を徹底する。

知的障害のある児童生徒のための各教科の段階による各部の内容構成について

[教育課程の編成]

[教科の段階] (小学部 3段階、中学部 1段階、高等部 2段階)

高等部	■ 各教科
	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、職業、家庭、※外国語、※情報、家政、農業、工業、流通・サービス、福祉、これら以外の教科
	■ 道徳
	■ 総合的な学習の時間 ■ 特別活動 ■ 自立活動
中学部	■ 各教科
	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、職業・家庭、※外国語
	■ 特別の教科である道徳
	■ 総合的な学習の時間 ■ 特別活動 ■ 自立活動
小学部	■ 各教科
	生活、国語、算数、音楽、図画工作、体育
	■ 特別の教科である道徳
	■ 特別活動 ■ 自立活動

【2段階】

高等部 1 段階を踏まえ、比較的障害の程度が軽度である生徒を対象として、発展的な学習内容

【1段階】

中学部の内容やそれまでの経験を踏まえ、主として卒業後の家庭生活、社会生活及び職業生活などを考慮した、基礎的な内容

[専門学科において開設される各教科は 1 段階のみ]

小学部 3 段階の内容の程度を踏まえ、生活年齢に応じながら、主として経験の積み重ねを重視するとともに、他人との意思疎通や日常生活への適応に困難が大きい生徒にも配慮しつつ、生徒の社会生活や将来の職業生活の基礎を育てることをねらいとする内容

【3段階】

障害の程度が比較的軽く、他人との意思疎通や日常生活を営む際に困難さが見られるが、前段階の程度までは達せず、適宜援助を必要とする者を対象とした内容

【2段階】

障害の程度が 1 段階ほどではないが、他人との意思の疎通に困難があり、日常生活を営むのに頻繁に援助を必要とする者を対象とした内容

【1段階】

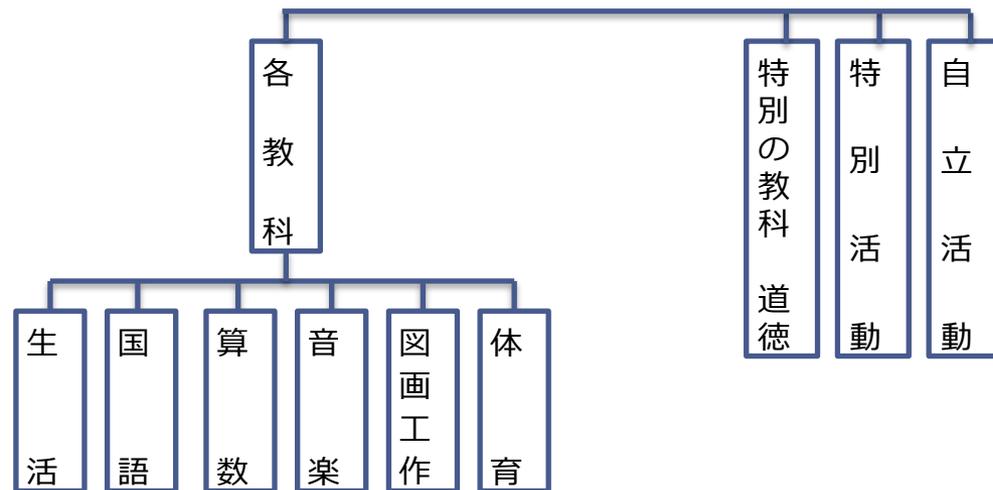
主として、障害の程度が比較的重く、他人との意思の疎通に困難があり、日常生活を営むのにほぼ常時援助が必要とする者を対象とした内容

※：必要に応じて、外国語（中学部）、外国語及び情報（高等部）を加えることができる

特別支援学校（知的障害）の教育課程の構造について

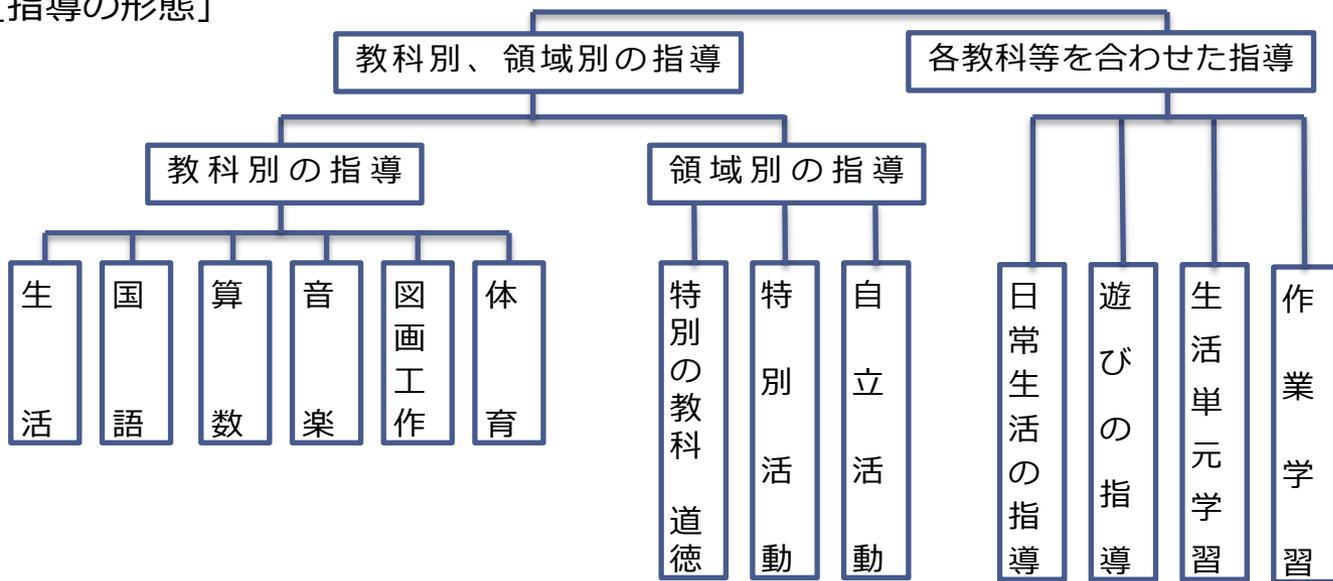
[教育課程の基本的内容]

特別支援学校(知的障害)小学部の教育課程



特別支援学校（視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、病弱）において、知的障害を併せ有する児童生徒に対する教育を行う場合を含む

[指導の形態]



各教科等を合わせた指導について①

□各教科等を合わせて指導を行う場合とは（特別支援学校学習指導要領解説総則編等）

各教科等を合わせて指導を行う場合とは、各教科、道徳、特別活動及び自立活動の一部又は全部を合わせて指導を行うことをいう。知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校においては、この各教科等を合わせて指導を行うことが効果的であることから、従前、日常生活の指導、遊びの指導、生活単元学習、作業学習などとして実践されている。

指導の形態について

各教科との関連について

日常生活の指導

日常生活の指導は、児童生徒の日常生活が充実し、高まるように日常生活の諸活動を適切に指導するものである。

生活科の内容だけでなく、広範囲に、各教科等の内容が取り扱われる。

遊びの指導

遊びの指導は、遊びを学習活動の中心に据えて取り組み、身体活動を活発にし、仲間とのかかわりを促し、意欲的な活動をはぐくみ、心身の発達を促していくものである。

生活科の内容をはじめ、各教科等にかかわる広範囲の内容が扱われる。

生活単元学習

生活単元学習は、児童生徒が生活上の目標を達成したり、課題を解決したりするために、一連の活動を組織的に経験することによって、自立的な生活に必要な事柄を実際的・総合的に学習するものである。

広範囲に各教科等の内容が扱われる。

作業学習

作業学習は、作業活動を学習活動の中心にししながら、児童生徒の働く意欲を培い、将来の職業生活や社会自立に必要な事柄を総合的に学習するものである。

職業・家庭科の内容だけでなく、広範囲に各教科等の内容が扱われる。

□特別支援学校学習指導要総則（小・中学部）内容等の取扱いに関する共通事項

（略）各教科、道徳、特別活動及び自立活動の全部又は一部を合わせて指導を行う場合には、各教科、道徳、特別活動及び自立活動に示す内容を基に、児童又は生徒の知的障害の状態や経験等に応じて、具体的に指導内容を設定するものとする。 【前回の改定で新たに明記された内容である】（*なお、高等部も同様である）

各教科等を合わせた指導について② 生活単元学習の例

各教科等の 関連の例

単元目標	○丁寧な言葉や態度で相手に応対する。 ○なぜ丁寧な言葉遣いや態度が大切であるかが分かる。					
	教科等の関連や含まれる教科の内容					
小単元名	具体的な学習活動	国語／社会	数学／理科	音楽／美術	保体／職・家	外国語／道徳／自立活動
「M幼稚園の子供たちの好きなことを知ろう」 (2単位時間)	<ul style="list-style-type: none"> M幼稚園の子供たちに好きな遊びを聞く。 ゲームコーナーにどのような遊びが欲しいか聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 話のおよその内容を聞き取る。(国語) 自分の意見を述べたり、相手の立場を考えたりして、互いに協力する。(社会) 			<ul style="list-style-type: none"> 働くことに関心をもち、作業や実習に参加し、働く喜びを味わう。(職・家) 	<ul style="list-style-type: none"> 時と場所を理解しながら、礼儀正しく接する(道徳)
「ゲームコーナーの内容を考えよう」 (2単位時間)	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園の子供たちから聞いてきた内容から、ゲームコーナーの遊びを話しあう。 幼稚園の子供たちへの招待状を作成する 	<ul style="list-style-type: none"> 話のおよその内容を聞き取る。(国語) 自分の意見を述べたり、相手の立場を考えたりして、互いに協力する。(社会) 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活に関係の深い事物や機械・機具の仕組みと扱いについての初歩的な知識をもつ。(理科) 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな材料や用具などの扱い方を理解して使う。(美術) 	<ul style="list-style-type: none"> 働くことに関心をもち、作業や実習に参加し、働く喜びを味わう。(職・家) 道具や材料の扱い方が分かり、安全や衛生に気をつけながら作業や実習をする。(職・家) 	<ul style="list-style-type: none"> 状況に応じたコミュニケーションをできるようにする(自立)
「魚釣り、射的台をつくって、楽しもう」 (3単位時間)	<ul style="list-style-type: none"> 魚釣り、射的台に必要な材料を考える。 司会などの役割分担発表する文章を作成する ゲームコーナーの装飾をする 自分たちで、当日と同じようにゲームコーナーを楽しんでみる。 	<ul style="list-style-type: none"> 話のおよその内容を聞き取る。(国語) 自分の意見を述べたり、相手の立場を考えたりして、互いに協力する。(社会) 社会生活に必要ないろいろなきまりがあることを知り、それらを守る。(社会) 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活に関係の深い事物や機械・機具の仕組みと扱いについての初歩的な知識をもつ。(理科) 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな材料や用具などの扱い方を理解して使う。(美術) 	<ul style="list-style-type: none"> 働くことに関心をもち、作業や実習に参加し、働く喜びを味わう。(職・家) 道具や材料の扱い方が分かり、安全や衛生に気をつけながら作業や実習をする。(職・家) 	
「M幼稚園でゲームコーナーを開こう」 (3単位時間)	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の方をお迎えする 学習の成果を保護者の方の前で発表する 	<ul style="list-style-type: none"> 話のおよその内容を聞き取る。(国語) 自分の意見を述べたり、相手の立場を考えたりして、互いに協力する。(社会) 社会生活に必要ないろいろなきまりがあることを知り、それらを守る。(社会) 				<ul style="list-style-type: none"> 気持ちの良いあいさつ、言葉遣い、動作などにこころがける(道徳)

関連する教科の目標・内容から評価規準を設定

- 中学部「国語」内容
 - (1) 話のおよその内容を聞き取る。
 - (2) 自分の意見などを相手に分かるように話す。
- 中学部「社会」内容
 - (1) 集団生活の中で役割を理解し、自分の意見を述べたり、相手の立場を考えた
りして、互いに協力する。(社会) など
- 中学部「職業・家庭」内容
 - (1) 働くことに関心をもち、作業や実習に参加し働く喜びを味わう。など

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
(例) 笑顔で接し ようとする。 (ア)	(例) 相手の場面 や状況に応じよう とする。 (イ)	(例) 丁寧な言葉 遣いや態度で接す る。 (ウ)	(例) なぜ、丁寧 な言葉遣いや態度 が大切であるかが わかる。 (エ)

- 授業計画においては、(ア)～(エ)の評価規準がバランスよく評価
できる学習活動を設定
- 個別の指導計画に基づき、児童生徒の実態に即して評価項目を選択

学習評価について

小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について
(通知) (平成22年5月1日) (抜粋)

小学校及び特別支援学校小学部の指導要録に記載する事項等

Ⅱ 指導に関する記録

1 各教科の学習の記録

特別支援学校（知的障害）小学部における各教科の学習の記録については、特別支援学校小学部・中学部学習指導要領に示す小学部の各教科の目標、内容に照らし、具体的に定めた指導内容、実現状況等を文章で記述する。

目標に準拠した評価を行うが、観点ごとに評価することとせず、学習評価における観点を示していない

様式2 (指導に関する記録)

各教科・特別活動・自立活動の記録						
学年 教科等	1	2	3	4	5	6
生活						
国語						
算数						
音楽						
図画工作						
体育						
特別活動						
自立活動						

各教科の目標と内容：国語

目標	<p>[高等部] 生活に必要な国語についての理解を深め、伝え合う力を高めるとともに、それらを適切に活用する能力と態度を育てる。</p> <p>[中学部] 日常生活に必要な国語についての理解を深め、伝え合う力を高めるとともに、それらを活用する能力と態度を育てる。</p> <p>[小学部] 日常生活に必要な国語を理解し、伝え合う力を養うとともに、それらを表現する能力と態度を育てる。</p>
----	--

内容	「話すこと・聞くこと」	「読むこと」	「書くこと」	
高等部 2段階	(1)話し手の意図や気持ちを考えながら、話の内容を適切に聞き取る。	(2)自分の立場や意図をはっきりさせながら、相手や目的、場に応じて適切に話す。	(3)目的や意図などに応じて文章の概要や要点などを適切に読み取る。	(4)相手や目的に応じていろいろな文章を適切に書く。
高等部 1段階	(1)話の内容の要点を落とさないように聞き取る。	(2)目的や場に応じて要点を落とさないように話す。	(3)いろいろな語句、文及び文章を正しく読み、内容を読み取る。	(4)手紙や日記などを目的に応じて正しく書く。
中学部	(1)話のおよその内容を聞き取る。	(2)見聞きしたことや経験したこと、自分の意見などを相手に分かるように話す。	(3)簡単な語句、文及び文章などを正しく読む。	(4)簡単な手紙や日記などの内容を順序立てて書く。
小学部 3段階	(1)身近な人の話を聞いて、内容のあらましが分かる。	(2)見聞きしたことなどのあらましや自分の気持ちなどを教師や友達と話す。	(3)簡単な語句や短い文などを正しく読む。	(4)簡単な語句や短い文を平仮名などで書く。
小学部 2段階	(1)教師や友達などの話し言葉に慣れ、簡単な説明や話し掛けが分かる。	(2)見聞きしたことなどを簡単な言葉で話す。	(3)文字などに関心をもち、読もうとする。	(4)文字を書くことに興味をもつ。
小学部 1段階	(1)教師の話の聞いたり、絵本などを読んでもらったりする。	(2)教師などの話し掛けに応じ、表情、身振り、音声や簡単な言葉で表現する。	(3)教師と一緒に絵本などを楽しむ。	(4)いろいろな筆記用具を使って書くことに親しむ。

各教科の目標と内容：算数、数学

目標	<p>[高等部] 生活に必要な数量や図形などに関する理解を深め、それらを活用する能力と態度を育てる。</p> <p>[中学部] 日常生活に必要な数量や図形などに関する初歩的な事柄についての理解を深め、それらを扱う能力と態度を育てる。</p> <p>[小学部] 具体的な操作などの活動を通して、数量や図形などに関する初歩的なことを理解し、それらを扱う能力と態度を育てる。</p>
----	--

内容	「数量の基礎、数と計算」	「量と測定」	「図形・数量関係」	「実務」
高等部 2段階	(1)生活に必要な数量の処理や計算をする。	(2)長さ・重さ・量などの測定方法を理解し、活用する。	(3)様々な図形、表やグラフを理解し、工夫して使う。	(4)生活に必要な金銭や時計・暦などを工夫して使う。
高等部 1段階	(1)日常生活に必要な数量の処理や計算をする。	(2)長さ・重さなどの単位の関係が分かり、測定する。	(3)図形を正しく作図したり、表やグラフを工夫して作ったりする。	(4)金銭や時計・暦などの正しい使い方が分かる。
中学部	(1)日常生活における初歩的な数量の処理や計算をする。	(2)長さ・重さなどの単位が分かり、測定する。	(3)図形の特徴や図表の内容を理解し、作成する。	(4)金銭や時計・暦などの使い方に慣れる。
小学部 3段階	(1)初歩的な数の概念を理解し、簡単な計算をする。	(2)身近にあるものの重さや広さなどが分かり、比較する。	(3)基本的な図形が分かり、その図形を描いたり、簡単な図表を作ったりする。	(4)時計や暦に関心をもつ。
小学部 2段階	(1)身近にある具体物を数える。	(2)身近にあるものの長さやかさなどを比較する。	(3)基本的な図形や簡単な図表に関心をもつ。	(4)一日の時の移り変わりに気付く。
小学部 1段階	(1)具体物があることが分かり、見分けたり、分類したりする。	(2)身近にあるものの大小や多少などに関心をもつ。	(3)身近にあるものの形の違いに気付く。	

各教科の目標と内容：理科（中学部、高等部） + 生活科（小学部）の一部

目標	<p>[高等部] 自然の仕組みや働きなどについての理解を深め、科学的な見方や考え方を養うとともに、自然を大切にする態度を育てる。</p> <p>[中学部] 日常生活に関係の深い自然の仕組みや働きなどに関する初歩的な事柄についての理解を図り、科学的な見方や考え方を養うとともに、自然を大切にする態度を育てる。</p> <p>[小学部] 日常生活の基本的な習慣を身に付け、集団生活への参加に必要な態度や技能を養うとともに、自分と身近な社会や自然とのかかわりについて関心を深め、自立的な生活をするための基礎的能力と態度を育てる。</p>
----	---

内容	「人体」	「生物」	「事物や機械」	「自然」
高等部 2 段階	(1)人の体の主なつくりや働きについての理解を深めるとともに、人の成長や環境とのかかわりについて関心をもつ。	(2)生物とそれを取り巻く自然環境についての理解を深め、生命の大切なことを知る。	(3)様々な物質の性質や機械・器具の種類、構造及び働きについて理解し、適切に取り扱う。	(4)自然の事物・現象についての理解を図るとともに、自然と生活との関係について理解を深める。
高等部 1 段階	(1)人の体の主なつくりや働きを理解する。	(2)生物の特徴、その成長や活動の様子について理解し、生命の大切なことを知る。	(3)生活に関係のある物質の性質や機械・器具の構造及び働きについて理解し、適切に取り扱う。	(4)自然の事物・現象についての初歩的な理解を図るとともに、自然と生活との関係を理解する。
中学部	(1)人の体の主なつくりや働きに関心をもつ。	(2)身近な生物の特徴、その成長及び活動の様子に関心をもつ。	(3)日常生活に関係の深い事物や機械・器具の仕組みと扱いについての初歩的な知識をもつ。	(4)自然の事物・現象についての興味を広げ、日常生活との関係を知る。
(生活科)				「自然」
小学部 3 段階				(10)身近な自然の事物・現象に興味や関心を深め、その特徴や変化の様子を知る。
小学部 2 段階				(10)身近な自然の中で遊んだり動植物を育てたりして自然や生き物への興味や関心を深める。
小学部 1 段階				(10)身近な自然の中で、教師と一緒に遊んだり、自然や生き物に興味や関心をもったりする。

各教科の目標と内容：生活（小学部）（再掲）

目標	【小学部】 日常生活の基本的な習慣を身に付け、集団生活への参加に必要な態度や技能を養うとともに、自分と身近な社会や自然とのかかわりについて関心を深め、自立的な生活をするための基礎的能力と態度を育てる。											
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

内容	基本的な生活習慣	健康・安全	遊び	交際	役割	手伝い・仕事	きまり	日課・予定	金銭	自然	社会の仕組み	公共施設
小学部 3段階	(1)日常生活に必要な身近な処理を自分でする。	(2)健康や身体の変化に関心をもち、健康で安全な生活をするように心掛ける。	(3)友達とかかわりを持ち、きまりを守って仲良く遊ぶ。	(4)身近な人と自分とのかかわりが分かり、簡単な対応などをする。	(5)進んで集団生活に参加し、簡単な役割を果たす。	(6)日常生活で簡単な手伝いや仕事を進んでする。	(7)日常生活に必要な簡単なきまりやマナーが分かり、それらを守って行動する。	(8)日常生活でのおよその予定が分かり、見通しをもって行動する。	(9)簡単な買い物をして、金銭の取扱いに慣れる。	(10)身近な自然の事物・現象に興味や関心を深め、その特徴や変化の様子を知る。	(11)家庭や社会の様子に興味や関心を深め、その働きを知る。	(12)身近な公共施設や公共物などを利用し、その働きを知る。
小学部 2段階	(1)教師の援助を受けながら日常生活に必要な身近な処理をする。	(2)教師の援助を受けながら健康で安全な生活をする。	(3)教師や友達と簡単なきまりのある遊びをする。	(4)教師の援助を受けながら身近な人にあいさつや話をするなどのかかわりをもつ。	(5)集団活動に参加し、簡単な係活動をする。	(6)教師の援助を受けながら簡単な手伝いや仕事をする。	(7)日常生活に必要な簡単なきまりやマナーに気づき、それらを守って行動する。	(8)教師の援助を受けながら日課に沿って行動する。	(9)決まった額の買い物をして、金銭の必要なが分かる。	(10)身近な自然の中で遊んだり動植物を育てたりして自然や生き物への興味や関心を深める。	(11)家族の役割や身近な地域の様子に興味や関心をもち、自分と家庭や社会とのかかわりに気付く。	(12)教師の援助を受けながら身近な公共施設や公共物などを利用する。
小学部 1段階	(1)日常生活に必要な身近な処理を求めたり、教師と一緒にいったりする。	(2)教師と一緒に健康で安全な生活をする。	(3)教師や友達と同じ場所で遊ぶ。	(4)教師と一緒に身近な人に簡単なあいさつをする。	(5)教師と一緒に集団活動に参加する。	(6)教師と一緒に簡単な手伝いや仕事をする。	(7)教師と一緒に日常生活の簡単なきまりに従って行動する。	(8)教師と一緒に日課に沿って行動する。	(9)教師と一緒に簡単な買い物をする。	(10)身近な自然の中で、教師と一緒に遊んだり、自然や生き物に興味や関心をもちたりする。	(11)家族や家の近所などの様子に興味や関心をもち、	(12)身近な公共施設や公共物などを教師と一緒に利用する。
	【食事】【用便】【寝起き】【清潔】【身の回りの整理】【身なり】	【健康管理】【危険防止】【交通安全】【避難訓練】	【いろいろな遊び】【遊具の後片付け】	【自分自身と家族】【身近な人との交際】【電話や来客の取次ぎ】【気持ち伝える対応】	【集団の参加や集団内での役割】【地域の行事への参加】【協働での作業と役割分担】	【手伝い】【整理整頓】【戸締まり】【掃除】【後片付け】	【自分の物と他人の物の区別】【学校のきまり】【日常のきまり】【マナー】	【日課・予定】	【金銭の扱い】【買い物】【自動販売機等の利用】	【自然との触れ合い】【動物の飼育・食物の栽培】【季節の変化と生活】	【家族・親戚・近所の人】【いろいろな店】【社会の様子】	【公園や遊園地などの利用】【公共施設の利用】【交通機関の利用】

各教科の目標と内容：音楽

目標	<p>[高等部] 表現及び鑑賞の能力を伸ばし、音楽活動への意欲を高めるとともに、生活を明るく楽しいものにする態度と習慣を育てる。</p> <p>[中学部] 表現及び鑑賞の能力を培い、音楽についての興味や関心を深め、生活を明るく楽しいものにする態度と習慣を育てる。</p> <p>[小学部] 表現及び鑑賞の活動を通して、音楽についての興味や関心をもち、その美しさや楽しさを味わうようにする。</p>
----	--

内容	「鑑賞」	「身体表現」	「器楽」	「歌唱」
高等部 2段階	(1)いろいろな音楽をその美しさなどを味わいながら鑑賞する。	(2)音楽を聴いて感じたイメージを創造的に身体表現する。	(3)打楽器、旋律楽器などの演奏の仕方に慣れ、楽器の特色や音色を生かしながら合奏や独奏をする。	(4)独唱、斉唱、二部合唱、オペレッタなどによる表現に慣れ、歌詞の内容や曲想などを味わいながら歌う。
高等部 1段階	(1)いろいろな音楽をその美しさなどを感じ取りながら鑑賞する。	(2)音楽を聴いて曲の特徴などを感じ取り、創造的に身体の動きで表現したりする。	(3)打楽器や旋律楽器などに親しみ、その演奏の仕方に慣れ、気持ちを込めて合奏や独奏をする。	(4)歌詞の内容を感じ取って、独唱、斉唱、簡単な合唱などをする。
中学部	(1)いろいろな音楽を楽器の音色などに関心をもって聴く。	(2)音楽を聴いて感じたことを動作で表現したり、リズムに合わせて身体表現をしたりする。	(3)打楽器や旋律楽器などを使って、自由に演奏したり、合奏や独奏をしたりする。	(4)歌詞やリズムなどに気を付けて、独唱、斉唱、簡単な輪唱などをする。
小学部 3段階	(1)身近な人の歌や演奏などを聴き、いろいろな音楽に関心をもつ。	(2)音楽に合わせて簡単な身体表現をする。	(3)旋律楽器に親しみ、簡単な楽譜を見ながらリズム合奏をする。	(4)やさしい歌を伴奏に合わせてながら、教師や友達などと一緒に歌ったり、一人で歌ったりする。
小学部 2段階	(1)好きな音や音楽を聴いて楽しむ。	(2)友達や教師とともに簡単なリズムの特徴を感じ取って身体を動かす。	(3)打楽器などを使ってリズム遊びや簡単な合奏をする。	(4)好きな歌ややさしい旋律の一部分を楽しく歌う。
小学部 1段階	(1)音楽が流れている中で体を動かして楽しむ。	(2)音の出るおもちゃで遊んだり、扱いやすい打楽器などでいろいろな音を鳴らしたりして楽しむ。		

各教科の目標と内容：図画工作、美術

目標	<p>[高等部] 造形活動によって、表現及び鑑賞の能力を高め、豊かな情操を養う。 [中学部] 造形活動によって、表現及び鑑賞の能力を培い、豊かな情操を養う。 [小学部] 初歩的な造形活動によって、造形表現についての興味や関心をもち、表現の喜びを味わうようにする。</p>		
内容	「表現」	「材料・用具」	「鑑賞」
高等部 2段階	(1)経験や想像をもとに、様々な技法などを用いて、創造的に絵をかいたり、作品をつくったり、それらを飾ったりする。	(2)いろいろな材料の性質や用具などの扱い方を理解し、適切に使う。	(3)自然や優れた造形品を鑑賞し、美しさなどを味わうとともに、地域の伝統工芸品に関心をもつ。
高等部 1段階	(1)経験や想像をもとに創造的に絵をかいたり、作品をつくったり、それらを飾ったりする。	(2)いろいろな材料の性質や用具などの扱い方を理解し、工夫して使う。	(3)自然や優れた造形品を鑑賞し、その美しさなどを味わう。
中学部	(1)経験や想像をもとに、計画を立てて、絵をかいたり、作品をつくったり、それらを飾ったりする。	(2)いろいろな材料や用具などの扱い方を理解して使う。	(3)自然や造形品の美しさなどに親しみをもつ。
小学部 3段階	(1)見たこと、感じたことや想像したことを、工夫して絵にかいたり、つくったり、それを飾ったり、使ったりする。	(2)いろいろな材料や用具を工夫しながら、目的に合わせて使う。	(3)友達と作品を見せ合ったり、造形品などの形や色、表し方の面白さなどに気付いたりする。
小学部 2段階	(1)見たことや感じたことを絵にかいたり、つくったり、それを飾ったりする。	(2)粘土、クレヨン、はさみ、のりなどの身近な材料や用具を親しみながら使う。	
小学部 1段階	(1)かいたり、つくったり、飾ったりすることに関心をもつ。	(2)土、木、紙などの身近な材料をもとに造形遊びをする。	

各教科の目標と内容：体育、保健体育

目標	<p>[高等部] 適切な運動の経験や健康・安全についての理解を通して、心身の調和的発達を図り、明るく豊かな生活を営む態度と習慣を育てる。</p> <p>[中学部] 適切な運動の経験や健康・安全についての理解を通して、健康の保持増進と体力の向上を図るとともに、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。</p> <p>[小学部] 適切な運動の経験を通して、健康の保持増進と体力の向上を図り、楽しく明るい生活を営む態度を育てる。</p>
----	---

内容	「基本的な運動」 (小)	「いろいろな運動」 (小2,3、中・高) 「運動遊び」 (小1)	「きまり」 (中・高) 「きまり・安全」 (小2,3) 「きまり」 (小1)	「保健」 (中・高)
高等部 2段階		(1)体づくり運動、いろいろなスポーツ、ダンスなどの運動を通して、体力や技能を高める。	(2)きまりやいろいろなスポーツのルールなどを守り、友達と協力し、進んで安全に運動をする。	(3)心身の発育・発達に応じた適切な行動や生活に必要な健康・安全に関する事柄の理解を深める。
高等部 1段階		(1)体づくり運動、いろいろなスポーツ、ダンスなどの運動をする。	(2)きまりやいろいろなスポーツのルールなどを守り、友達と協力して安全に運動をする。	(3)心身の発育・発達に関心を持ち、生活に必要な健康・安全に関する事柄を理解する。
中学部		(1)体づくり運動、簡単なスポーツ、ダンスなどの運動をする。	(2)きまりや簡単なスポーツのルールなどを守り、友達と協力して安全に運動をする。	(3)自分の発育・発達に関心をもったり、健康・安全に関する初歩的な事柄を理解したりする。
小学部 3段階	(1)歩く、走る、跳ぶなどの基本的な運動を姿勢や動きを変えるなどしていろいろな方法で行う。	(2)いろいろな器械・器具・用具を使った運動、表現運動、水の中での運動などをする。	(3)いろいろなきまりを守り、友達と協力して安全に運動をする。	
小学部 2段階	(1)歩く、走る、跳ぶなどの基本的な運動に慣れる。	(2)いろいろな器械・器具・用具を使った運動、表現運動、水の中での運動などに親しむ。	(3)簡単なきまりを守り、友達とともに安全に運動をする。	
小学部 1段階	(1)教師と一緒に、楽しく手足を動かしたり、歩く、走るなどの基本的な運動をしたりする。	(2)いろいろな器械・器具・用具を使った遊び、表現遊び、水遊びなどを楽しく行う。	(3)簡単な合図や指示に従って、楽しく運動をする。	

各教科の目標と内容：職業（高等部） + 職業・家庭（中学部）（再掲）

目標	<p>[高等部]（職業） 勤労の意義について理解するとともに、職業生活に必要な能力を高め、実践的な態度を育てる。</p> <p>[中学部]（職業・家庭） 明るく豊かな職業生活や家庭生活が大切なことに気付くようにするとともに、職業生活及び家庭生活に必要な基礎的な知識と技能の習得を図り、実践的な態度を育てる。</p>						
----	---	--	--	--	--	--	--

内容	「働くことの意義」	「道具・機械等の取扱いや安全・衛生」	「役割」	「職業に関する知識」	「産業現場等における実習」	「健康管理・余暇」	「機械・情報機器」
高等部 2段階	(1)働くことの意義について理解を深め、積極的に作業や実習に取り組み、職場に必要な態度を身に付ける。	(2)いろいろな道具や機械の仕組み、操作などを理解し、材料や製品の管理を適切に行い、安全や衛生に気を付けながら正確に効率よく作業や実習をする。	(3)作業の工程全体を理解し自分の分担に責任をもち他の者と協力して作業や実習をする。	(4)職業生活に必要な実際的な知識を深める。	(5)産業現場等における実習を通して、職業生活に必要な事柄を理解する。	(6)職業生活に必要な健康管理や余暇の計画的な過ごし方についての理解を深める。	(7)職場で使われる機械やコンピュータ等の情報機器などの操作をする。
高等部 1段階	(1)働くことの意義を理解し、作業や実習に取り組み、働く喜びを味わう。	(2)道具や機械の操作に慣れるとともに、材料や製品の扱い方を身に付け安全や衛生に気を付けながら作業や実習をする。	(3)自分の分担に責任をもち、他の者と協力して作業や実習をする。	(4)適切な進路選択のために、いろいろな職業や職業生活について知る。	(5)産業現場等における実習を通して、実際的な職業生活を体験する。	(6)職業生活に必要な健康管理や余暇の有効な過ごし方が分かる。	(7)職場で使われる機械やコンピュータ等の情報機器などの簡単な操作をする。
(職業・家庭)	「働くことの意義」	「道具・機械等の取扱いや安全・衛生」	「役割」	「職業に関する基礎的な知識」	「産業現場等における実習」	「健康管理・余暇」	「情報」
中学部	(1)働くことに関心をもち、作業や実習に参加し、働く喜びを味わう。	(3)道具や機械、材料の扱いなどが分かり、安全や衛生に気を付けながら作業や実習をする。	(4)自分の役割を理解し、他の者と協力して作業や実習をする。	(2)職業に就くためには、基礎的な知識と技能が必要であることを理解する。	(5)産業現場等における実習を通して、いろいろな職業や職業生活、進路に関心をもち。		(8)職業生活や家庭生活中で使われるコンピュータ等の情報機器の初歩的な扱いに慣れる。

各教科の目標と内容：家庭（高等部） + 職業・家庭（中学部） + 生活（小学部）

目標	<p>[高等部]（家庭） 明るく豊かな家庭生活を営む上に必要な能力を高め、実践的な態度を育てる。</p> <p>[中学部]（職業・家庭） 明るく豊かな職業生活や家庭生活が大切なことに気付くようにするとともに、職業生活及び家庭生活に必要な基礎的な知識と技能の習得を図り、実践的な態度を育てる。</p>
----	---

内容	「家庭の役割」	「消費と余暇」	「道具・器具等の取扱いや安全・衛生」	「家庭生活に関する事項」	「保育・家庭看護」
高等部 2段階	(1)家庭の機能や家族の役割を理解し、楽しい家庭づくりのために積極的に役割を果たす。	(2)家庭生活における計画的な消費や余暇の有効な過ごし方について理解を深める。	(3)家庭生活で使用する道具や器具を効率的に使用し、安全や衛生に気を付けながら実習をする。	(4)被服、食物、住居などに関する実習を通して、健康で安全な生活に必要な実際的な知識と技能を習得する。	(5)保育や家庭看護などに関する基礎的な知識と技能を習得する。
高等部 1段階	(1)家族がそれぞれの役割を果たしていることを理解し、楽しい家庭づくりのための自分の役割を果たす。	(2)家庭生活における計画的な消費や余暇の有効な過ごし方が分かる。	(3)家庭生活で使用する道具や器具などの正しい使い方が分かり、安全や衛生に気を付けながら実習をする。	(4)被服、食物、住居などに関する実習を通して、実際的な知識と技能を習得する。	(5)保育や家庭看護などに関心をもつ。
(職業・家庭)	「家庭の役割」	「余暇」	「道具・器具等の取扱いや安全・衛生」	「家庭生活に関する基礎的な事項」	
中学部	(6)家族がそれぞれの役割を分担していることを理解し、楽しい家庭づくりをするために協力する。	(9)家庭生活における余暇の過ごし方が分かる。	(3)道具や機械、材料の扱いなどが分かり、安全や衛生に気を付けながら作業や実習をする。	(7)家庭生活に必要な衣服とその着方、食事や調理、住まいや暮らし方などに関する基礎的な知識と技能を身に付ける。	
(生活)	「手伝い・仕事」				
小学部 3段階	(5)進んで集団生活に参加し、簡単な役割を果たす。				
小学部 2段階	(5)集団活動に参加し、簡単な係活動をする。				
小学部 1段階	(5)教師と一緒に集団活動に参加する。				

各教科の目標と内容：外国語 [英語] (中学部、高等部)

目標		[高等部] 外国語でコミュニケーションを図る基礎的な能力や態度を育てるとともに、外国語や外国への関心を深める。 [中学部] 外国語に親しみ、簡単な表現を通して、外国語や外国への関心を育てる。		
内容		「会話」	「読む・書く」	「語や句、文の意味」
高等部 2段階		(1)初歩的な英語を使って簡単な会話をする。	(2)簡単な語、句、文を書いたり読んだりする。	(3)簡単な語、句、文の意味を知る。
高等部 1段階		(1)簡単な英語を使って表現したり、やりとりしたりする。	(2)簡単な語、句、文に興味や関心をもつ。	(3)日常生活の中で見聞きする語や句の意味を知る。
内容		「英語とその表現への興味や関心」	「英語での表現」	
中学部	(1)身近な生活の中で見聞きする英語に興味や関心をもつ。	(2)簡単な英語を使って表現する。		

各教科の目標と内容：情報 (高等部)

目標		[高等部] コンピュータ等の情報機器の操作の習得を図り、生活に必要な情報を適切に活用する基礎的な能力や態度を育てる。				
内容		「情報やコンピュータ等の情報機器の役割」	「機器の操作」	「ソフトウェアの操作と活用」	「通信」	「情報の取扱い」
高等部 2段階		(1)生活の中で情報やコンピュータ等の情報機器が果たしている役割を知り、それらの活用に関心をもつ。	(2)コンピュータ等の情報機器の扱い方が分かり、操作する。	(3)各種のソフトウェアの操作に慣れ、実習をする。	(4)コンピュータ等の情報機器を利用した情報の収集、処理及び発信の方法が分かり、実際に活用する。	(5)情報の取扱いに関するきまりやマナーを理解し、それらを守って実習する。
高等部 1段階		(1)日常生活の中で情報やコンピュータ等の情報機器が果たしている役割に関心をもつ。	(2)コンピュータ等の情報機器に関心を持ち、簡単な操作をする。	(3)各種のソフトウェアに関心を持ち、実習をする。	(4)コンピュータ等の情報機器を利用した情報の収集、処理及び発信に関心をもつ。	(5)情報の取扱いに関するきまりやマナーがあることを知る。

知的障害のある児童生徒のための各教科の変遷

告示	教科の構成（段階）
昭和38年	<p>小学部（低学年、中学年、高学年）：国語、社会、算数、理科、音楽、図画工作、家庭、体育 中学部（段階なし）：国語、社会、数学、理科、音楽、図画工作、保健体育、職業・家庭、選択教科* 高等部（段階なし）： * 選択教科は外国語と職業・家庭を基準</p> <p>● 教科の名称は小・中学校に準ずることとし、目標及び内容については別に定める。</p>
昭和46、47年	<p>小学部（低学年、中学年、高学年）：生活、国語、算数、音楽、図画工作、体育 中学部（段階なし）：国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、職業・家庭、その他特に必要な教科 高等部（段階なし）：国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、職業、家庭、その他特に必要な教科</p> <p>● 小学部に「生活」を新設。</p>
昭和54年	<p>小学部（段階なし）：生活、国語、算数、音楽、図画工作、体育 中学部（段階なし）：国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、職業・家庭、その他特に必要な教科 高等部（段階なし）：国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、職業、家庭、その他特に必要な教科</p> <p>● 小学部の各教科を1段階で示す。</p>
平成元年	<p>小学部（1～3段階）：生活、国語、算数、音楽、図画工作、体育 中学部（段階なし）：国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、職業・家庭、その他特に必要な教科 高等部（段階なし）：国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、職業、家庭、その他特に必要な教科 専門教科：家政、農業、工業</p> <p>● 小学部の各教科を3段階で示す。</p>
平成11年	<p>小学部（1～3段階）：生活、国語、算数、音楽、図画工作、体育 中学部（段階なし）：国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、職業・家庭、外国語※ 高等部（1、2段階）：国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、職業、家庭、外国語※、情報※ 専門教科：家政、農業、工業、流通・サービス</p> <p>● 高等部の各教科を2段階で示す（専門教育に関する各教科は1段階）。「情報」、「流通・サービス」を新設。</p>
平成21年	<p>小学部（1～3段階）：生活、国語、算数、音楽、図画工作、体育 中学部（段階なし）：国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、職業・家庭、外国語※ 高等部（1、2段階）：国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、職業、家庭、外国語※、情報※ 専門教科：家政、農業、工業、流通・サービス、福祉</p> <p>● 高等部の専門教科として「福祉」新設。</p>

※の教科は、学校や生徒の実態を考慮し、必要に応じて設けることができる。

(参考) 社会科等で育成すべき資質・能力の整理 (仮案・調整中)

	個別の知識や技能 (何を知っているか、何ができるか)	思考力・判断力・表現力等 (知っていること、できることをどう使うか)	情意・態度等に関わるもの (どのように社会、世界と関わりよりよい人生を送るか)
地理 (地理総合 (仮称))	<ul style="list-style-type: none"> ・地図や地理情報システムなどの地理的な技能 ・地球規模の自然システム, 社会・経済システムの理解 	<ul style="list-style-type: none"> ・位置や分布, 場所, 地域などの空間概念を捉え追究する地理的な見方や考え方 	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会づくりに向けて, 地球的課題や地域的課題の解決を模索する態度など
歴史 (歴史総合 (仮称))	<ul style="list-style-type: none"> ・日本及び世界の歴史の考察に関わる概念の理解 ・歴史に関わる諸資料を活用する技能 	<ul style="list-style-type: none"> ・自国の歴史・グローバルな歴史を横断的・相互的に捉え、諸資料を活用して、歴史に関わる諸課題を考察する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚など
公民 (公共 (仮称))	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の諸課題を捉え、考察し、選択・判断していくために必要な概念的な枠組みの理解 	<ul style="list-style-type: none"> ・国家・社会の形成者として必要な選択・判断を主体的に行い、他者と協働しながら様々な課題を解決していく力 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会参画への意欲や態度 ・現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚など

(参考) 社会科等で育成すべき資質・能力の整理 (仮案・調整中)

	個別の知識や技能 (何を知っているか、何ができるか)	思考力・判断力・表現力等 (知っていること、できることをどう使うか)	情意・態度等に関わるもの (どのように社会、世界と関わりよりよい人生を送るか)
中学校社会	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の国土と歴史に対する理解 国民主権を担う公民として必要な基礎的教養 資料活用の技能 (社会的事象に関する様々な情報を適切に収集、選択、活用する技能) 	<ul style="list-style-type: none"> 社会的事象の見方や考え方をを用いて、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題や問題について公正に判断したりする力 思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力 	<ul style="list-style-type: none"> 社会に対する関心 我が国の国土や歴史に対する愛情 国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者を目指す態度 など
地理的分野	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的な認識 地図の読図や作図、景観写真の読み取りなどの地理的な技能 	<ul style="list-style-type: none"> 社会的事象の地理的な見方や考え方をを用いて、事象の特色や相互の関連、意味を多面的・多角的に考察する力 地域に見られる課題の解決に向けて、複数の立場や意見を踏まえて選択・判断する力 調査したことや思考・判断したことについて説明したり議論したりする力 	<ul style="list-style-type: none"> 日本や世界の地理的事象に対する関心 生徒が生活している土地に対する関心 地域の課題を見出し、地域社会の形成に参画しその発展に努力しようとする態度
歴史的分野	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の歴史の大きな流れ、伝統と文化の特色の理解 歴史上の人物と文化遺産の理解 歴史に見られる国際関係や文化交流のあらましの理解 *世界の歴史の扱いを充実させること等を検討 	<ul style="list-style-type: none"> 社会的事象の歴史的な見方や考え方をを用いて、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する力 歴史にみられる諸課題について、複数の立場や意見を踏まえて選択・判断する力 思考・判断したことについて説明したり議論したりする力 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的事象や身近な地域の歴史への関心 他民族の文化や生活などへの関心 我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚 国際協調の精神 歴史上の人物と文化遺産を尊重する態度
公民的分野	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会を捉える見方と考え方の基礎としての対立と合意、効率と公正などの理解 政治や経済、国際関係に関する概念の理解 統計や新聞、映像など現代の社会的事象に関する諸資料を活用する技能 	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会を捉える見方や考え方をを用いて、社会的事象を現代の社会生活と関連付けたり、現代の諸課題について公正に判断したりする力 	<ul style="list-style-type: none"> 現代の社会的事象に対する関心 自国を愛し、その平和と繁栄を図ることが大切であることの自覚 各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことが重要であることの自覚 社会に見られる課題に着目し自ら考えようとする態度
小学校社会	<ul style="list-style-type: none"> 社会生活についての理解 (地域や我が国の国土の地理的環境、社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化、それらと人々の生活との関連) 観察、資料活用の技能 (社会的事象に関する情報を「集める」「読み取る」「まとめる」技能) 	<ul style="list-style-type: none"> 社会的事象の見方や考え方の基礎を用いて、社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、社会への関わり方を選択・判断する力 思考・判断したことを説明する力 	<ul style="list-style-type: none"> 環境の保全や自然災害の防止、我が国の産業の発展や情報化への関心、先人の業績や優れた文化遺産についての興味・関心 地域社会の一員としての自覚、地域社会に対する誇りと愛情、我が国の国土に対する愛情、我が国の歴史や伝統を大切に、国を愛する心情、平和を願う日本人として世界の国々の人々とともに生きていくことの大切さの自覚 *世界の国々との関わりや我が国の政治への働きへの関心、よりよい社会を考えようとする態度等について検討